

アンケート結果にみる授業の成果と課題（平成 26 年度）

学校教育講座・山田 誠

1. 授業の概要

(1) 受講者

本授業は、学校教育基礎コース教育学専修の「教育学に関する専修科目」（後学期開講，選択科目）であり，主な対象は2回生である。今年度の受講者数は，異なる課程からの受講者2名を含む2回生14名であった。

(2) 授業の目的・到達目標

本授業の目的は，まず，生涯学習を支援するための基礎的知識を身につけ，とりわけ成人期の学びの支援について，子どもの学びの支援と対比させ，また関連付けながら理解することである。また，各教育部門の取り組みにおいて，子ども期から成人期へと，生涯学習者としての成長をどのように支援することができるかを考えることができるようになるということである。

授業の到達目標は，次の4項目である。

1) 生涯学習，生涯教育に関する基礎概念，及び生涯学習関連施策の動向を把握し，説明できる。

2) 学習支援の基礎理論及びアンドラゴジの原理について理解し，説明できる。

3) 生涯学習者としての成長や自己主導的学習の支援について理解し，説明できる。

4) 学校教育や社会教育等，各教育部門の特質を把握し，各部門において生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組まれるべきかを主体的に考え，論述することができる。

(3) 関連するディプロマ・ポリシー (DP)

学校教育教員養成課程の卒業時の到達目標 (DP) のうち関連する項目は，「教科・教職に関する確かな知識と，得意とする分野の専門的知識を修得している。(知識・理解)」を想定している。

(4) 授業の方法・形態

基本的には講義形式中心の授業である。ただ，授業が一方的な講義に終わらないようにする意味からも，時折発問や受講者の意見発表，受講者との対話を取り入れるよう試みた。

2. 「授業時間外学習の促進」について

本授業では，シラバス（授業時間外学習に

かかわる情報）に，「毎回の授業終了後には，学習内容を振り返り，再確認しておく。教科書・配付資料等の指示された箇所をよく読んでおく。課題として指示される場合のみならず，図書館等を利用した発展的学習に努める。」と記載し，第1回授業時のオリエンテーションでもこれを確認した。筆者は，受講者との双方向性を確保するとともに，受講者における授業内容の理解・定着や思考の深化を促す手立てとしてコメント（振り返り）カードを用いてきた。これまで通常は，授業時間内に同カードの記述を求めていたが，今年度は，授業内容についてよりじっくりと考察を深められるよう，授業時間外の時間を使って記述することにした。また，授業時間外に教科書を読んで学んだことや自己学習・発展的学習を行った成果をコメントカードに記入・報告することを奨励するとともに，その記述内容も評価に加味していくことを伝えた。

3. アンケート結果

14回目の授業時に，授業全体を振り返っての，受講者による授業評価アンケートを実施した。アンケートは，4段階評価形式の質問が4項目11問と自由記述形式の質問が2問である。回収数13，回収率92.9%であった。

以下にアンケートの結果を示す。なお，紙幅の都合により，一部割愛する。

(1) 授業全般についての結果

【授業の内容に関する質問】

1-1. [関心・興味] この授業で取り上げられた事柄について，関心・興味がわいた。

4. そう思う：1名 (7.7%)

3. まあそう思う：9名 (69.2%)

2. あまりそう思わない：3名 (23.1%)

1. そう思わない：0名 (-)

【授業担当者の授業方法に関する質問】

2-1. [わかりやすさ] 教員の説明の仕方はわかりやすかった。

4. そう思う：1名 (7.7%)

3. まあそう思う：9名 (69.2%)

2. あまりそう思わない：3名 (23.1%)

1. そう思わない：0名 (-)

【授業全体に関する質問】

4-1. [得るものがあったか] この授業により、考えが培われたり、得るところがありましたか。

4. そう思う：2名 (15.4%)
3. まあそう思う：9名 (69.2%)
2. あまりそう思わない：2名 (15.4%)
1. そう思わない：0名 (—)

(2) 授業時間外学習についての結果

3-1. [自己学習・発展的学習] あなたは、この授業に関連して興味を持った事柄や疑問点について、授業時間外に図書館やインターネット等を活用して調べてみることを積極的に行いましたか。

4. そう思う：1名 (7.7%)
3. まあそう思う：2名 (15.4%)
2. あまりそう思わない：9名 (69.2%)
1. そう思わない：1名 (7.7%)

3-2. [コメントカード(1)] あなたは、各回の授業内容を振り返り、自分が考えたこと、疑問、感想等を、コメントカードに記述することができましたか。

4. そう思う：7名 (53.8%)
3. まあそう思う：5名 (38.5%)
2. あまりそう思わない：1名 (7.7%)
1. そう思わない：0名 (—)

3-3. [コメントカード(2)] あなたは、自己学習・発展的学習の成果や教科書を読んで学んだことを、コメントカードに記述することができましたか。

4. そう思う：2名 (15.4%)
3. まあそう思う：7名 (53.8%)
2. あまりそう思わない：3名 (23.1%)
1. そう思わない：1名 (7.7%)

3-4. [コメントカード(3)] あなたは、コメントカードを記述することが、授業内容について振り返り、理解や考えを深めるのに役立ったと思いますか。

4. そう思う：2名 (15.4%)
3. まあそう思う：9名 (69.2%)
2. あまりそう思わない：2名 (15.4%)
1. そう思わない：0名 (—)

3-5. [授業時間外学習の量] あなたは、この授業に関して、受講者の授業時間外の学習活動がもっと増えるよう改善すべきだと考えますか。

4. そう思う：0名 (—)
3. まあそう思う：6名 (46.2%)
2. あまりそう思わない：7名 (53.8%)

1. そう思わない：0名 (—)

(3) 自由記述の結果

1) この授業を通して学ぶことができたこと、考えが培われたことは、どのようなことですか。

- ・生涯教育とは何かを学び、考えるようになった。生涯学習を行っていくために大学や地域で様々な取り組みが行われていると知り、将来的に参加してみたいと思った。
- ・子どもだけでなく大人も学習する。教えることは知識だけでない。「学習」には様々な見方、考え方がある。
- ・学校教育についてだけではなく、生涯学習という視点から「教育」について考えることができた。教育について、広い視野がもてるようになったと思う。
- ・成人期の学習は、社会が積極的に支援する姿勢をもつことで大きな発展が見込まれるものであり、学校教育を終えてからも、人生を豊かにするために、学び続けることは非常に有効であると知り、普及や発展のためには、ペダゴジーの段階からしっかりと基礎を築かせ、また社会も学校・地域・家庭が連携していく必要があると感じ、自らも教師になったら実践を通して、その一助になりたいという考えになった。

2) 授業でよかった点、あるいは、こう改善するとよいという指摘など、自由に記述してください。

- ・みんなで意見を論ずることができた点。
- ・説明がくわしくてよかった。話を聞くことが多く、受け身の授業になりすぎたかなと思った。
- ・資料が多く、印象的な話だったのが良かったです。全体での発表だけでなく、グループなどの活動に取り組めるとさらに理解が深められたように思います。
- ・知識伝達に偏重ぎみだったように感じたので、少人数クラスでもあるので、意見交換の機会を増やしても良いのではと思いました。

3. 総括

授業全般についての結果は、ほぼ8割程度の肯定的回答を得ているものの、「そう思う」の選択率が低く、なお改善の余地がある。

授業時間外学習の促進に関しては、今回、コメントカードの活用における工夫を中心に試みた。アンケート結果では、カードへの取り組みとその効果については、約7～9割が肯定的回答であった。しかし、まだまだ本格的な取り組みにはなっていない。初めのうちは、指示した課題が行われていないこともあった。また、とりわけ、授業に関連した自発的自己学習・発展的学習については、23.1%と低調である。今後も取り組む必要がある。